

Case : 333

ひざ掛けがキャスターに絡まり、前方に転落しそうになる

場面の説明

ひざ掛けがキャスターに絡んで車いすが急停止。利用者が前方へ飛ばされるように転落しそうになった。



利用シーン	 移動
主な利用場所	 廊下
介護保険の種目	 車いす
分類コード (CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

寒い季節や病気・障害で体温調整がうまくできない人が、ひざ掛け等で防寒対策をする場面はよくあります。介護者も利用者もひざ掛けがずり落ちていることに気が付かなかったために生じてしまいました。また、マフラーが大車輪に絡まるといった事例もあります。キャスターや大車輪に絡まないような予測的な対応が大切です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：介護者も利用者も、ひざ掛けが絡まる事を予測していなかった
- 人：防寒対策が不十分だった
- モノ：ひざ掛けの固定が不十分だった
- 管理：キャスターに絡まる危険性を指導されていなかった